

各位

株式会社ジェネティックラボ

**太陽生命が新たな『疾病予防サービス』として
当社が提供する子宮頸がん HPV 検査 PAPI' Qss (パピックス) を導入**

トランスジェニックグループの株式会社ジェネティックラボ（本社：北海道札幌市 代表取締役 福永健司）は、現在提供している自己採取 HPV（ヒトパピローマウイルス）検査^{*1}に關しまして、この度 T&D 保険グループの太陽生命保険株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長 副島直樹 以下、「太陽生命」）が、新たな疾病予防サービスとして 2021 年 9 月 1 日から開始する「子宮頸がん HPV 検査パピックス」として導入されることとなりましたのでお知らせいたします。

太陽生命は、重大な疾病の早期発見・早期改善から「病気の予防をサポートしお客様の健康増進のお役に立つ」ため、今般、新たな『疾病予防サービス』として、当社が提供する「子宮頸がん HPV 検査パピックス」を導入し、太陽生命のお客さまに案内を開始いたします。当検査では、子宮頸がん^{*2}の原因とされる高リスク型 HPV の感染有無を、自宅で簡単に調べることができ、子宮頸がんの早期発見の可能性を拡げることができます。

また、当社と太陽生命および株式会社太陽生命少子高齢社会研究所（本社：東京都中央区 代表取締役社長 浅見磨孝）の 3 社は、当検査の受検結果を活用し、共同研究^{*3}を実施します。この研究は、「病院に行く時間がない」「気後れする」等、様々な理由によって子宮頸がん検診^{*4}を受診する機会を逃している方へ、Web による自己採取 HPV 検査を提供した場合の有用性を評価することを目的としています。子宮頸がん検診の受診率が向上する可能性や、中等度異形成 (CIN2) 以上およびがんの検出率の向上に寄与するかを明らかにしたいと考えています。

当社および太陽生命は、「子宮頸がん HPV 検査パピックス」の推進を通じて、子宮頸がん検診を受診する方が増え、罹患の早期発見によって一人でも多くの女性が身体に負担の少ない適切な治療を受けることができるよう貢献してまいりたいと考えております。

以上

【用語解説】

- ※1 自己採取 HPV 検査 受検者が自分自身で採取した細胞の提出を受けて、子宮頸がんの原因となる高リスク型 HPV への感染の有無を調べる検査。今回実施する検査法はよりリスクの高い HPV16・18 型は個別に、その他高リスク型 HPV12 種は一括で感染を調べるもので、医師が採取した細胞で行う HPV 検査と同等の感度・特異度を有することが確認されている。
- ※2 子宮頸がん 子宮頸部（子宮の入り口）に発生するがんのことで、年間で約 1 万人が罹患し、約 3 千人が死亡している。20～40 歳代の若年層に増加しているのが特徴で、生涯で 78 人に 1 人の女性が罹患する。
- ※3 共同研究 研究課題名：「Web による自己採取 HPV 検査の有用性の検証：高リスク型 HPV 陽性例における子宮頸がん検診受診の動機づけの可能性と、CIN2 以上の検出ツールとしての有用性に関するアンケート調査を用いた前向き研究」
- ※4 子宮頸がん検診 子宮頸がん検診を受診するには、医療機関や集団検診会場に足を運ぶ必要があるが、羞恥心等の心理的要因や、受診機会の少なさという物理的要因によって受診をためらう女性が多いため、子宮頸がん検診の受診率は伸び悩んでいる。

パピックス概要・2つの特長！

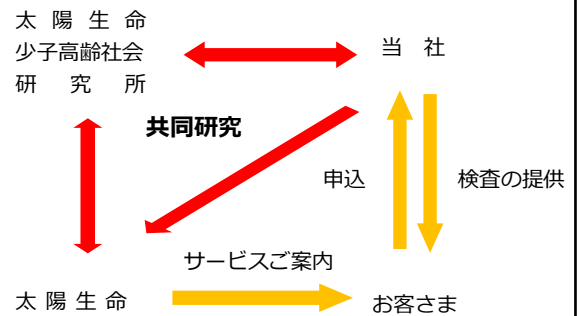
パピックスは、子宮頸がんの原因とされる HPV の感染有無を調べることができる検査であり、特にリスクの高い「16 型」「18 型」は個別に、「その他高リスク型 12 種」は一括で検出することができます。

特長 1

子宮頸がんの早期発見の可能性を上げることができます！！

特長 2

自宅で簡単に検査できます！！



【株式会社ジェネティックラボについて】

2000 年、国立大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

お問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 病理部営業課

〒060-0009 北海道札幌市中央区北 9 条西 15 丁目 28-196 札幌 IT フロントビル 3F

E-MAIL: selfhvp@gene-lab.com <https://www.gene-lab.com/>